

# 七月例会御案内

(令和元年・通算第三八八回)

## 時代を刷新する会

### ○御案内

七月十二日(金) 十一時半より入館可、正午～午後二時半 参議院議員会館B103会議室

講題 どうなる? アメリカ経済・世界経済! 講師 今井激(きよし)先生(国際エコノミスト、元山一証券・日債銀顧問)

◎ 七月は選挙の月、そこで、今回は国際経済問題に絞ります。それにつけて、アメリカ経済が気になります。また、アメリカ経済は即、世界経済の動向に大きく影響するからです。

トランプ大統領の「アメリカ・ファースト」政策は、アメリカを経済的に建て直すとして、メキシコからの移民を阻止するため国境に壁を造ると宣言し、海外からの輸入製品がアメリカの産業を疲弊させたとして、特に中国からの製品に二十五%もの関税を掛け、米中貿易戦争が激化しており、そして、ヨーロッパ諸国や日本にも関税交渉を求めています。トランプ大統領はそのためアメリカ経済が大幅に改善されたと胸を張りますが、FRB(米連邦準備制度理事会)は、景気減速から利下げを検討していると表明しています。そこで、日本で最も古くからの国際経済専門家、今井激(きよし)先生に、分析・御解説をいただきます。奮って御参加を!(清原記)

□ 当日会費(昼食付き) 会員は三千円、非会員五千円。

時代を刷新する会 <http://www.jidaisasshin.jp>

七月十一日(金)の月例会△△に

出席 欠席 (いずれかに○印を)

電話 03-3272-4320  
FAX 03-3507-8587

御芳名

貴方様のFAX  
メール

当日連絡先 080-8836-6203 重田

080-9292-2620 高津

(メール不可・通話のみ)

注▽ ハガキの返信は七月十日までに、御投函賜りたく。

### ○御報告

近年、人間の設計図ともいうべきDNAの中の塩基配列がすべて解読されたことから、遺伝子診断で病気の鑑別や発症予測やその治療まで出来るようになり、さらには、そっくり人間を再生することもできるようになったとのことから、こうした課題につき、行動遺伝学を研究しておられる慶應義塾大学教授の安藤寿康先生をお招きし、六月十一日、参議院議員会館一階102会議室にて御講話をいただいた。

安藤寿康先生の御講話の要旨は、まず、人間の身体は約六十兆個もの細胞で構成されており、そのそれぞれに、二十三対の染色体が入っていて、この中に人間の身体すべての遺伝子情報が入っている。したがって、例えば爪の細胞であっても、身体すべての情報を持っている等々、基礎的な用語(DNA、遺伝子、ゲノム、エピゲノムなど)につき、分かりやすく御説明下さった。その上で、例えば、両親から子供が遺伝子を受け継ぐ場合、父母はそれぞれ三十億対の遺伝子情報を持っており、子供は、パパママから遺伝子情報を受け継ぐので、単純に(パパ+ママ)割る2とはならない。その意味では、遺伝は単純に遺伝するとはいえない。

自分(安藤先生)は、永年、双生児、それも一卵性と二卵性の双生児の研究をしてきたが、その結果、「学校の成績は教育の仕方や本人の頑張り次第」という考えは否定され、「努力より遺伝子」という比重が大きいく。しかし、仮に自分の細胞から外見そっくり人間を作ったとしても、その知能とか人間性といった本人の中身的なものは、そっくり人間に引継がれることはない、という。つまり、御研究成果で、一同、安藤先生の御研究に心から敬意を表しました。

国はすでに、クローン人間を作ろうとする者が出てくることを恐れ、平成十二年に「ヒトに関するクローン技術等の規制に関する法律」を制定し、クローン人間作成を罰則をもって禁止している。今回の講話で、もし不届き者が現れても、精神的な中身は再生できないことが分かった。

(清原記)

### ▽「時代を刷新する会」とは

「何事も人類・国民のためになることは、時代を先取りして、積極的に取り組もう」との趣旨で、昭和五十六年、岸信介元総理によって創設されたシンクタンクです。晩年の岸信介元総理がそうであったように、超党派・超派閥で、真に国を憂える有志によって構成されています。八つの部会と、五、六の委員会があり、これまでに百三十七本の要請書を時の政府に提出しています。第二代会長は、木村睦男元参議院議長、第三代会長は櫻内義雄元衆議院議長、第四代会長の塩川正二郎元財務大臣は、九十歳を機に辞任。第五代会長代行として、江口一雄元衆議院議員、その後、平成二十七年四月から、第六代会長代行として、岸信夫衆議院議員・元外務副大臣、前議員運営委員会理事、現在は衆議院安全保障委員長が引き続き就任しております。

▽ 事務局電話(03)3272-4320

専務理事・清原淳平、総務・重田、高津